

第4回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会防災・環境部会議事録

- ◆ 開催日時 平成26年8月7日(木) 18:00 ~ 19:20
- ◆ 開催場所 登別市市民活動センター「のぼりん」
- ◆ 出席部会員
部会長 江口 武利
副部会長 川島 芳治
部会員 久保田 博史
関 修
佐藤 紀清 (市庁内検討委員会 部会長)
【総務部次長】
橋場 太 (市庁内検討委員会 副部会長)
【総務部総務G総括主幹】
- ◆ 欠席部会員 部会員 鹿原 徳子
和泉 薫
遠藤 潤
- ◆ 事務局 上野総務部企画調整G企画主幹
大越総務部企画調整G主査
- ◆ 議題 「第2章自然とともに暮らすまち」に関する考え方について

◎事務局

今回は、施策の基本的な方向の1『環境保全意識の醸成』でした。関連する市の取り組みとしては、絵画コンクール、リサイクルまつり、環境家計簿の普及促進、子ども環境家計簿の実施と結果の公表、交通エコロジー教室、環境ポスター展、環境講習会、クリンクルセンターの施設見学の受け入れなどがあります。

◎部会長

クリンクルセンターの施設見学者は多いのですか。やはり市内の方が多いいですか。

◎市庁内検討委員会部会長

市内と市外、どちらもありますね。件数は、今は把握していないのですが。

◎事務局

クリンクルセンターのリサイクルまつりも行っており、多くの方にお越しいただいています。

◎部会員

確か、幌別東小学校、幌別小学校、若草小学校、青葉小学校では、クリンクルセンターの見学を行っています。

◎部会長

毎年、定期的にやっているのはいいですね。新たにというのは難しいかも知れませんが。

◎副部会長

環境ポスター展には全小学校が参加していたと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

『環境保全意識の醸成』の中の、①環境教育の推進は必要ですし、②と③も必要ですね。このあたりは前回ある程度お話ししましたね。

◎部会員

先ほど話の合った環境エコロジー教室は、大人が対象なのですか。

◎市庁内検討委員会副部会長

国土交通省北海道運輸局の事業です。子どもにハイブリッドバスを見せたり、乗車させたりしています。

◎部会員

②は関連団体との連携を含めた意識の強化ですが、③はどちらかというところ、施策の基本的な方向の2『環境保全活動の推進』に関する項目に見えてくるのですが。

◎市庁内検討委員会部会長

意識の醸成ということでは、こちらには入らなくてもいいかなという気もしますが、迷うところですね。意識を醸成するためには、周知などが大切なので、計画の周知や公表・普及促進などが必要だという言葉が後ろにきているんですよ。

◎部会員

施策の基本的な方向の2『環境保全活動の推進』の③から⑤までは、環境保全活動推進という観点から見ると少々違うのかなと思いました。

◎市庁内検討委員会部会長

全部を見ていくと、そのようなものは結構ありますので、言っていただければと思いますが、私たちも庁内の部会で疑問に思った部分もあります。事業をどこに入れるかと迷うことができました。

◎部会員

1の③『環境に配慮した消費行動の推進』は、消費構造の推進ではなく、意識啓発でもいいのかなと思うのですが、そうすると2の①『省資源・省エネルギーへの意識啓発』と重なってしまうので、意識付けと言ってもいいのかなと。

◎部会員

意識付けと言ってしまいますと、効果がなくなってしまうようですが、活動推進という意味で捉えるとその方が良いのかなと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

今いただきました意見は、庁内の部会でも、もう一度考えてみます。

◎部会員

③は、項目立てだけの問題かなと思います。

◎副部会長

第2期基本計画をベースにして第3期基本計画をつくるということですから、その施策を削除するということにはならないと思いますね。

◎部会員

計画を見る側からすると、この項目を見てそうだよなという状態になっているのが良いと思ったわけです。そうすると、項目のまとめ方が若干見直ししてもらった方が良いのかなと思いました。削除するのは、やめた方が良いと思います。

改めて体系図全体を見渡してみると、そうだよなと思うのが大半ですし、項目を新たに立てるかといえ、もしかしたらどこかでやったら良いのかなという気がしないでもありません。

◎市庁内検討委員会部会長

私たちの基本的なやり方は、第2期基本計画と第3期基本計画があつて、第2期基本計画から変わったものは変えていきます。

また、第3期基本計画中もやらないといけないことは基本的には変えていません。そのため、チェックが薄い部分もありますので、変だなと思うところはおっしゃっていただければと思います。

◎事務局

ポイントやキーワードをいただいて、これをすれば実現できるということをお話しの中で提言していただければと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

第2期基本計画と第3期基本計画であまり変わらない部分は、さらっといつていることもありますので、変だなと、気になる部分はおっしゃっていただければと思います。

◎部会員

私が気になったのは、『環境に配慮した暮らしの構築』は、くくりが逆じゃないかと思ったところですね。

◎市庁内検討委員会部会長

ただ、消費行動を推進させることによって、環境保全意識の醸成はできるのではないですか。施策の基本的な方向2の①『省資源・省エネ生活への意識啓発』と一緒にいいのかなというのがありますよね。意識の啓発なので、施策の基本的な方向1の②『環境保全団体や自治体間等の連携強化と活動の推進』に入るのかなという考え方もできますよね。

◎部会員

逆に、施策の基本的な方向2の①が、1の③と一緒にあって、1の中に入ってもいいのかも知れないですね。行動を推進するよりも、基本的な方向が意識醸成で、③に関しては意識醸成で具体的な行動なので、上の方がいいのかなと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

これがもし入ったとしたら、仮に、2の①を1の③にもっていったとしたら、環境保全の推進、環境家計簿の普及促進も良いですよ。

電気自動車の購入は立ち上がらないかも知れませんが、これは意識の啓発と言いますか、PRにもなっているし、二酸化炭素の削減という2つに関わっているということがあります。2の①を1の③と併せた方がすっきりするような感じはしますね。この点は、庁内の部会で再度検討することにしたいと思います。

2の①の省エネ生活の意識啓発は、タイトルを変えないといけないかも知れませんね。省資源と省エネ生活の意識啓発ですし、上は環境に配慮した消費行動の推進なんよね。

◎事務局

先ほど部会員から、1の③は消費行動の推進ではなく、消費行動の啓発が良いのではないかとご意見をいただきました。

◎市庁内検討委員会部会長

消費行動というのがひっかかるのでしょうか。

◎事務局

そうですね。醸成というのと馴染まないかも知れないですね。

◎部会員

消費行動という面で私たちが感じているのは、リサイクルや技術ではなく、使い捨ての物は買わずに、繰り返し使えば、余計なごみを排出せずに済むのではないかということです。

◎市庁内検討委員会部会長

2の①の言葉を1の③に上書きしてはどうでしょうか。1の③の言葉をやめるということです。この言葉を全部変えたらつながらないでしょうか。省資源・省エネ生活への意識啓発というのは醸成につながるんですよ。

◎部会員

ここだけ見るとそれで良さそうですが、具体的な内容を見ると、1の③のグリーン購入や環境ラベルの製品の購入という文言とつじつまが合わなくなっていくのかなと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

結果はどうなるかわかりませんが、一度庁内で検討させてください。

主要な施策のところまでをこの部会でつくってあげばいいということで、堅苦しいスキームは事務方にお任せいただいて、皆さんの考え方が計画にどう盛り込まれるかが一番大事かと思います。

◎部会員

調整して考えてください。

◎部会員

2の①を1の④にしてしまえばいいのではないのでしょうか。1の③を意識啓発に変えて、2の①を1の④にしてしまうというのはどうでしょうか。

◎事務局

確かに②から⑤までは、環境保全活動をどうするかという具体的なことですよね。確かにそれは間違っていないですよ。

ただいま、①を1の④にした方がいいのではないかというご意見をいただきました。それ以降の②から⑤までは具体的な項目が並んでいるのですが、これについてはいかがでしょうか。

②温室効果ガスの削減推進、③自然エネルギーの利用促進、④公害監視体制の強化、⑤生態系の保全、ということで、この4つの取り組みによって環境保全を推進していきましょうということなのですが、具体的な事業としては記載しているとおり事業を行っているところです。

◎部会員

2は繰り上げて、①・②・③・④に変わるということですよ。

◎事務局

2の②の温室効果ガスの削減では、市としては具体的に、電気自動車を購入する、公共施設で再生エネルギーを導入するなどというようなことを実際に行っていますが、このほかに行った方がいいことなどはありますか。

◎部会員

温室効果ガスの削減推進は、次の廃棄物の減量もこれにつながってくると思います。

◎部会員

市として、どういうことをやっているか認知されていれば良いのではないのでしょうか。

◎部会員

温室効果ガスの減量削減に関して、市として数値目標はあるのでしょうか。

◎市庁内検討委員会部会長

紙などの減量はやっていますね。市役所の中ではやっていますが、民間ではやっていないのではないのでしょうか。

◎事務局

節電も大きな意味では、二酸化炭素の削減ですね。

◎市庁内検討委員会副部会長

それぞれの家庭では、環境家計簿などで取り組んでいます。

◎事務局

民間企業で、こんな取り組みをやっている例などはありますか。

◎部会員

節電に取り組んでいることですね。節電以外では、運ばれてきたごみを燃やすしかないのです、ゴミが減らない限り、削減はできないですね。

◎市庁内検討委員会部会長

二酸化炭素の削減は、泊発電所を稼働させることですね。あとは、市内にくつつかある太陽光発電などの再生エネルギーですね。

◎部会員

クリンクルセンターに関して言えば、立ち上げる回数、すなわち重油を使う回数を減らしています。冷えた状態からだ、立ち上げに8時間要しますので。

◎部会員

自治体は、国からの指針でやらざるを得ないようになっていると思いますが、民間でどういう自主活動をやっているのでしょうか。

◎部会員

あとは、クリンクルセンターの余熱利用で、廃熱を市民プールに送って水を温めています。なるべく熱を送るようにしています。

◎市庁内検討委員会部会長

余熱で最初は7割をカバーする設計でしたが、今は9割をカバーしています。それでも重油は2百何十万円か掛かっていますので、9割はすごいと思います。

◎事務局

あとは、③『自然エネルギーの利用促進』ですが、ソーラーパネルの価格が下がってきて、新築の家屋ではパネルが付いていたりしますね。さまざまな補助があり、普及にはずみがついていると思うのですが。

◎部会長

230万円前後、設置にかかりますよね。札内町の太陽光発電所などの大型のものとはちょっと違いますよね。大型のものは量を稼げるけれど、民家では難しいのではないのでしょうか。

◎部会員

私は昔、電気屋でしたが、今のコストだと電気代はペイしないと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

モニターなどに発電量などの数値が出ると、節電しようかなという意識は高まりますよね。

◎事務局

売電できる量はわずかではあるかも知れないですが、それを目指してやっているわけじゃないですか。そういった意味でも意識付けは大切ですよね。

◎部会員

売電できるなら、意識も変わってきますよね。

◎事務局

そのときの政権の考え方で左右され、変わってきたりもしますよね。

◎部会員

普通、電気代は一般家庭で月1万くらい、年間で10万円台くらいでしょうか。太陽光パネルがその分を補って代替できればいいと思いますが、そのデータの的なものはまだ管理されていないのでしょうか。

◎市庁内検討委員会部会長

聞くところによると、パネルの耐用年数によってだんだん発熱量は落ちてくるようです。ただ、10年やそれ以上はもつと思いますが。

◎副部会長

登別は海岸沿いにまちがありますが、ソーラーパネルに塩害はあるんですか。

◎市庁内検討委員会副部会長

ガラスなので、メタルではないと思いますが、設置している部品には鉄製品を使っているかも知れないですね。

◎副部会長

ガラスに霜がついて曇るのはありますね。窓ガラスが白くなるのと同じようになります。メンテナンスも大変そうですね。

◎市庁内検討委員会部会長

海沿いに太陽光パネルはあるんですか。

◎副部会長

驚別ですと、岬や公民館の付近などの住宅で見ることがあります。

◎市庁内検討委員会部会長

驚別でしたら、音がうるさいですが、岬のところに風力発電設備を建てた方が良いかも知れないですね。

◎部会長

風力は、電磁波や低周波が良くないという意見を耳にしたことがあります。

◎部会員

市内では、太陽光発電所はどんなところにできたのですか。

◎市庁内検討委員会副部長

刈田神社の向かいや登別東町3丁目にもあります。

◎部長

北海道曹達の工場の敷地や日本工学院北海道専門学校の向かいにもありますね。開設した企業はどこですか。

◎事務局

日本工学院北海道専門学校の向かいは、大林組です。市は同社と防災協定を結んでいて、太陽光発電所にコンセントをさせるようになっています。

◎部会員

登別は温泉地ですが、地熱は使えないのですか。

◎市庁内検討委員会部長

地熱はいろんな問題がありますね。以前調査しましたら、使えることは使えるようですが、温泉と同じところから引っぱって、温泉が枯れたらどうするんだと心配する意見があります。

◎部長

中登別あたりは、あまり影響ないでしょうね。中登別は国立公園になっていますか。

◎市庁内検討委員会部長

いいえ、なっていません。

◎部会員

熱の使い方は、昔と比べてシステムを変えていますから、以前よりはメンテナンスもやりやすくなっているみたいですが、昔はすぐ詰まっちゃったこともありました。

◎部長

電気代も値上げだし、灯油代も上がってくると地熱は考えますよね。

◎事務局

原発が稼働できず、電気代も上がっていくと、そうですよね。

◎部会員

市役所でこういったことを真面目に考えているところはないのですか。例えば、今言ったのは太陽光と風力ですが。

◎市庁内検討委員会部会長

観光経済部商工労政グループに、新エネルギー担当主幹を配置しています。

◎副部会長

風力は故障が多いと聞きますから、避けた方がいいと思います。

◎部会長

室蘭工業大学で一時期やっていましたよね。小水力など、川が一本あれば、水が流れていればできるのですから。

◎市庁内検討委員会部会長

設備投資に見合うだけの発電ができるかどうかですね。

◎部会員

若草町の優和園のところを流れる川を使って小水力発電ができないかと、ごみの問題を心配しなくていい縦型水車があって考えてみましたが、この水車の値段が高いのですよね。それに川の水量が少なくて、子どもの学習のためのデモンストレーション程度の発電量しか見込めないんですよ。ある程度の水深も必要ですが、その川は数センチメートルしかありません。

◎市庁内検討委員会部会長

商工労政グループに言った方がいいかも知れないですね。

◎部会員

例えば、富岸川を見ていると、ある程度の水量があるように見えますが。

◎部会長

富岸川は、雑草や木が生えていて、川といえる状態ではないように思えます。

鷺別川は結構水流がありますよね。あそこは結構きれいだから。どこかで研究してやらないといけませんね。

◎部会員

温泉熱で温まった地下水をくみ上げて、その熱を利用している例を聞いたことがあります。温泉水を使うと不純物が溜まって、メンテナンスに費用がかかってしまいますが、温泉水ではないきれいな地下水を使えば、メンテナンスの心配はさほどないようです。

◎市庁内検討委員会部会長

登別温泉では、道路の融雪に温泉水を利用していますよね。

◎市庁内検討委員会副部会長

廃湯を極楽通りの両側に流して、そこに雪を捨ててもらっています。ただ、硫黄泉で、ポンプが故障することが多く、一度に何十万円も修理にかかってしまいます。

◎副部会長

今のところは、太陽光ですよね。

◎市庁内検討委員会副部会長

太陽光発電のデメリットは、一番電気を使いたい時間帯に使えないということで、蓄電ができればいいのですが、すごく高いですよね。蓄電がしっかりできるようなになればまた変わってきますね。

◎部会員

山口県に行ったとき、まちなかの下水道に小水力発電のための縦型ポンプが付いていました。話には聞いていましたが、実際に見たのは初めてでした。

◎部会長

中央町あたりの水量も深いですよね。ああいうところに付けてもらったらどうでしょう。

◎市庁内検討委員会副部会長

若草小学校の線路側の都市水路はどうなのですか。

◎部会長

あそこは水量が少ないです。水深は5センチメートルくらいですね。それにしても、新生町付近は大雨が降ると冠水することが多いですね。以前よりは良くなりましたが。

◎市庁内検討委員会部会長

新生町側は、流すところがなくて困っています。最終的に鷺別川に流した場合、鷺別川がある一定の水位に達すると逆流するそうです。

◎部会員

昔、新生町で知人が家を建てましたら、少し雨が降ると、すぐ地面が水浸しになると言っていました。

◎市庁内検討委員会部会長

新生町が、昔の湿地帯から今のような住宅地になるとは思いませんでした。

◎市庁内検討委員会部会長

家を建てるとき、10メートル以上は杭が入るのですか。

◎部会長

杭を全部打ち切らずに、途中でやめてしまっている家もあるように聞いています。

◎市庁内検討委員会部会長

では、自然エネルギーの話はここまででよろしいですか。

◎事務局

1時間ほど経過しましたが、④『公害監視体制の強化』と⑤『生態系の保全』はどうでしょうか。

◎市庁内検討委員会副部会長

他の部会の進行状況は、どうなのでしょう。

◎事務局

それぞれで進捗は異なりますが、この部会はまだ体系図に入ったところだということではあります。

◎部会長

全体を一通り意見交換して、また戻って振り返っていく方法はどうでしょうか。

◎副部会長

④と⑤をやってしまいましょう。

◎部会長

④の体制の強化は、どこで監視しているのですか。

◎事務局

クリンクルセンターに担当部署がありまして、大気汚染、河川水質調査、自動車騒音の常時監視、空間放射線量の測定、最近クローズアップされているのがPM2.5です。

◎市庁内検討委員会部会長

PM2.5の測定機械はないのですよね。室蘭にはありますよね。

◎市庁内検討委員会副部会長

道内でも5カ所くらいですね。

◎市庁内検討委員会部会長

河川は全部やっていますよね。年間何回も水質調査している河川もあります。

◎事務局

PM2.5以外は、一通りのことを登別市はやっています。

◎部会員

PM2.5っていうのは怖いのですよね。

◎事務局

大陸の方からくるので、防ぎようがないのですよね。

◎部会長

黄砂も結構きますよね。

◎市庁内検討委員会副部長

この前は、雨で落ち着きましたけどね。

◎事務局 上野主幹

発生源の国に何とかしてもらって、元を絶たないと難しいですね。

◎部長

全部クリンクルセンターでやっているということでいいのですか。

◎市庁内検討委員会部長

公害の対策についてはクリンクルセンターでやっていますが、河川や自動車はそれぞれ違う場所でやっていますね。

◎部長

機械は移動できるのですか。

◎市庁内検討委員会部長

持っていくタイプだと思います。全国的に場所が決められていて、それを何カ所か定期的に実施しますので、持っていくタイプですね。

◎部長

運輸支局は関係ないのですか。

◎市庁内検討委員会部長

確か北海道だったと思います。

◎事務局

⑤『生態系の保全』ですが、外来種のペットが捨てられたりして、生態系を乱すということで、防止のために飼い主にペットの適正な飼育管理の周知を図る。あとは、野犬の掃討、カラス・蜂の巣の駆除などですね。

◎部会員

ペットを捨てる人は実際には分からないのですね。

◎事務局

自分で買えなくなって、捨ててしまうのでしょうかね。

◎部会長

意識付けですね。最近では鹿の被害も何とかしないと。ちょうど収穫時期になると、一晩で家庭菜園が荒らされますね。

◎部会員

道路に突然出てくる鹿とぶつかるのも怖いですね。

◎市庁内検討委員会部会長

高速道路で、市職員が運転する車と鹿がぶつかったこともあります。幌別周辺の川近くの民家にも現れます。猟友会も高齢化が進んでいますし、同会に頼っていますが、追いつきません。鹿肉を流通させようという動きはありますが。

◎部会長

今は、野犬はほとんど見当たらないですよ。猫の方が多いくらいで。

◎部会員

最近ハチの巣もすごく多いですね。

◎市庁内検討委員会部会長

今年はそうでもありませんが、暑い夏は蜂の巣の発生が多いですね。あれは、駆除に1件1万4,000円くらいかかります。山などの巣の駆除は無料でいいかも知れませんが、自分の家の軒下に蜂の巣ができた場合、自分で電話をして有料で駆除してもらった方が普通じゃないかなというような考え方もあります。

◎市庁内検討委員会副部会長

山の巣をちゃんと駆除してくれないから、うちの家に巣をつくられたと言われたりするかも知れないですね。

◎副部会長

生態系の保全とどうつながればいいのでしょうか。

◎事務局

市内にキウシト湿原があるのですが、ここには入っていないですが、植生の保全もやっていますね。

◎部会長

ここ何年かは保全ができていますか。徐々に減っていつているのですか。

◎事務局

現在整備していて、供用開始が来年です。

◎部会員

キウシト湿原の場所がどこか分かりません。

◎事務局

総合体育館、わかさいも、道南バス若山営業所の裏ですね。

◎副部会長

登別には外来種は入ってきているのですか。

◎市庁内検討委員会部会長

例えば、アメリカザリガニなどは昔からいますけど、それが原因でニホンザリガニがいなくなりましたよね。

◎市庁内検討委員会副部会長

植物も外来のものが多くなっているようです。生き物ですとニジマスも外来種ですね。

◎事務局

『登別のめずらしいいきもの』で、本日配布しました資料2ページの⑤に書かれているのですが、市のホームページで見ることができますので、ご自宅でご覧いただければと思います。

◎市庁内検討委員会副部会長

最近の内陸にカモメが入ってきますよね。

◎市庁内検討委員会部会長

柏木町はカラス、富浦町と亀田記念公園はカモメが多いんですよ。

◎部会員

クリンクルセンターの煙突や排水溝に、カモメが巣をつくることがあります。

◎事務局

④と⑤はお話を伺いましたが、今後10年間は引き続き必要ということで変更無しとしてよろしいでしょうか。

今回は、8月19日（金）の18時から市民活動センターで開催します。お疲れさまでした。